

Newsletter

Vol.27 2015.7.1

日本養護教諭養成大学協議会

日本養護教諭養成大学協議会
ニューズレターVol.27

会 長 荒木田美香子 (国際医療福祉大学)

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

協議会会長挨拶・・・・・・・・・・	1	養成大学の展望 大学紹介ー北から南ー・・・・・・・・	4
各種委員会活動方針・・・・・・・・	2	協議会活動報告・・・・・・・・・・	5
総会・養成教育フォーラムのお知らせ・・・・・・・・	3	事務局からのお知らせ・・・・・・・・	6
十周年記念行事について・・・・・・・・	3	編集後記・・・・・・・・・・	6
養成教育セミナーのお知らせ・・・・・・・・	3		



新会長挨拶
～会員校へ貢献できる
協議会をめざして～
会長
荒木田美香子
(国際医療福祉大学)

2015年4月より、会長を務めさせていただく荒木田美香子(国際医療福祉大学)でございます。会員校様には既にお知らせいたしましたように急遽、会長をお引き受けすることになったため、ビジョンを出すというより考えながら走っている状況でございます。今後は、皆様のご意見をお聞きし、ご協力をいただきながら本会を運営していきたいと存じます。

本会の規約の目的には「相互の提携と協力によって学術と教育の発展に寄与し、養護教諭養成の進展に関わる高等教育機関の使命達成に貢献すること」とあり、養護教諭養成を進展させることが主たる役割といえます。超高齢社会と少子化、急速なIT化、グローバル化により教育のあり方や子どもを取り巻く環境は大きく変化してきました。このような状況にあり、「養成を進展させる」ということはどういうことかということ

を原点に戻って考えてみました。

(1) 子どもに対して、時代が変わっても、人間として健康に生きるための条件・生活・環境を保証すること、(2) 社会の発展や変化に合わせて、新たな事象が子どもに必要なことか、どのような影響があるかを考え、子どもが自分の生活に取り込んでいく判断力とその基礎となる能力を育成すること、(3) 多様化する社会にあって多様な機関とサービスとの連携と協働を実施できる力が求められると思います。本協議会としても、養護教諭免許を有する養護教諭が免許取得時点で獲得すべき能力を明らかにすべきであり、それに基づいて、自大学の強みを生かし、弱点は強化し養成教育の充実を図ることではないかと考えます。

昨年度は、養成教育カリキュラムの変更を見据えて、役員会の方針として養護概説を養護学概論に、そして養護実践論、健康教育学の2科目を追加することを提案させていただき、概ね会員校のご賛同をいただきました。しかしながら、これらを鍋(入れ物)とするならば、何を材料に、どのような調味料を入れて、どれぐらいの時間調理をしてどのような料理にするのか

(中身と方法)ということは、まだ検討できておりません。つまり、どのような能力を持った養護教諭を目指して、提案した科目の中で何をどこまで、誰が、どのように教えるのかという中身の部分の検討が残っているということになります。この課題に迫るため、今期の委員会では養成制度検討委員会とカリキュラム検

討 committees の委員長を大川尚子先生にご担当いただき、両委員会の有機的な連携を図りたいと考えました。また FD 検討委員会ではアクティブ・ラーニングをテーマにその効果的な教育方法を検討することによって教員の能力の向上に迫っていただくことにいたしました。

会員校の皆様は時に応じてフィードバックをさせていただきながら、入れ物と中身と教育方法を明らかにするという課題に迫っていきたく存じます。

改めまして、会員校の先生方のご協力をお願い申し上げます。



「FD 検討委員会」 活動方針

委員長 中下富子 (埼玉大学)
遠藤伸子 (女子栄養大学)



高等教育において、カリキュラムの体系化、学修時間の確保、教員の教育力の向上等、及び学生の主体的な学びを引き出す、教育の「質」的転換への早急かつ効果的な取り組みが求められています。そこで、本 FD 委員会では、平成 27~29 年の 3 年間に於いて、学生の思考を活性化し、課題解決型の能動的な学修への参加を取り入れた教育方法の総称とされている「アクティブ・ラーニング」の充実について取り組みたいと考えております。

今後の FD 委員会の活動における委員 (約 7 名) を募集しております。皆様の応募を期待させていただくとともに、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



各種委員会活動方針

「養成制度検討委員会」

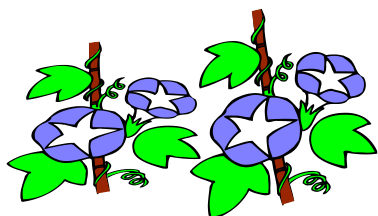
「カリキュラム検討委員会」

活動方針

委員長 大川尚子 (関西福祉科学大学)
三村由香里 (岡山大学)



本協議会では、昨年度までに、養成制度検討委員会では課程認定やカリキュラムに関わる専任教員等について、カリキュラム検討委員会では養護に関する科目について検討してきました。検討結果として、昨年度の総会では、「養護学概論」「養護実践論」「健康教育学」の必要性が確認され、それを受けまして今後は、それぞれの科目で学習する内容につきましてさらに検討していきたいと考えております。これまで、別々の委員会で検討してきましたが、相互に関連する部分が多く、今後の検討の方向性も含め、2 つの委員会をあわせて、養護教諭養成の資質向上に大きく影響する教員免許法の課題について養護教諭養成カリキュラムを中心に検討していきたいと考えております。今後の活動にむけて 10 名程度の委員を募集したいと思います。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



◆委員会委員の募集◆

各種委員会では活動に参加していただける委員を募集します。会の発展のためにも先生方の積極的なご参加をお願いいたします。ご参加いただける先生は 8 月 10 日 (月) までに下記の担当役員までメールでご連絡ください。

なお、大変申し訳ございませんが、各委員会の活動費が限られているため、会議等への交通費はご負担いただくことになることをご了解ください。

◇養成制度・カリキュラム検討委員会

大川尚子 (関西福祉科学大学)
nookawa@fuksi-kagk-u.ac.jp

◇FD 検討委員会

中下富子 (埼玉大学)
tonakasi@mail.saitama-u.ac.jp

日本養護教諭養成大学協議会 2015 年度総会および養成教育フォーラム、養成教育セミナーのご案内

2015 年度総会及び養成教育フォーラム

- ◆日 時：2015 年 9 月 4 日（金）
10：00～16：15（受付 9：30～）
- ◆場 所：きゅりあん
（東京都品川区東大井 5-18-1）
- ◆内容：総会
 - ・10 周年記念行事
 - ・特別講演
「スクールソーシャルワーカーの活用と
養護教諭との連携に期待すること—今後の
子どもの支援のあり方を考える—（仮題）」
文部科学省 児童生徒課生徒指導室

今年度は上記の日程で、これまでとは異なる会場で開催いたします。最寄の駅は、JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線の大井町駅から徒歩 1 分です。

4 日（金）の総会は原則として全ての会員大学のご参加をお願い致します。今年度は養成大学協議会を発足し 10 年目の節目に当たります。そのため、総会後には養成教育フォーラムの一環として 10 周年記念行事を行います。

十周年を迎える日本養護教諭養成大学協議会 十周年記念行事について

担当委員： 荒木田美香子、櫻田淳
三村由香里、大原榮子

本協議会が設立されたのは 2005 年 11 月 26 日、66 大学・短期大学（部）の加盟のもと発足いたしました。明治 38 年（1905 年）に養護教諭の前身である学校看護婦が誕生して 100 年の節目の時でした。私も設立準備委員会で規約づくり、委員会の構成などについて検討した日を覚えております。まさに産みの苦勞であり、同時に楽しみでもあったと思います。

本協議会の目的は、「養護教諭養成に関わる大学、短期大学（部）および大学院相互の提携と協力によって学術と教育の発展に寄与し、養護教諭養成の進展に関

わる高等教育機関の使命達成に貢献すること」でとあります。設立から十年が経ち、この目的のもと総会時には会員の交流を図り、ディスカッションができるような機会を設けてきました。また、委員会のメンバーの先生方には交通費もお支払できない中、手弁当で重要な検討をお願いし、その都度、会員校にフィードバックしてまいりました。

十周年記念行事としては、ささやかですが、2015 年 9 月 4 日の総会後に、記念行事として、歴代会長や役職をお勤めいただいた方より、ご挨拶を賜りたいと思います。さらに、本会の歩みの記となる十周年記念誌の発行を検討しております。今年度の総会にはぜひ、ご参加いただき、一緒に、養護教諭養成教育の充実に向けての決意を新たにしたいと存じます。

養成教育セミナー

- ◆日 時：2015 年 9 月 3 日（木） 13:00～16:30
- ◆場 所：きゅりあん（東京都品川区東大井 5-18-1）
- ◆テーマ：養護教諭養成教育におけるアクティブ・ラーニングの充実
- ◆内容 ①講演
「学生に深い学びを引き起こすアクティブ・ラーニングとは」（仮題）
長崎大学 大学教育イノベーションセンター
山地弘起氏
- ②分科会・全体会
アクティブ・ラーニングについて理解を深め、
養護教諭養成教育におけるアクティブ・ラーニングの現状と課題について協議いたします。

前日の 9 月 3 日（木）は養成教育セミナーを開催します。こちらは会員大学に所属する希望者はどなたでも参加できます。総会とあわせてお申込ください。

詳細につきましては、同封いたしました案内を参照ください。

懇親会

日時 9 月 3 日（木）17:00～19:00

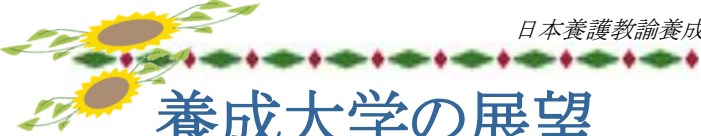
会場 パパミラノ大井町

050-5787-3463

東京都品川区大井 1-2-1 アトレ大井町
6F（JR 京浜東北線大井町駅徒歩 1 分）

会費 5000 円（貸切、飲み放題）

養成教育セミナー後は懇親会を計画しております。昨年度は初めての開催でしたが、大学間の交流を図ることもでき好評でした。詳細は同封いたしました案内をご参照ください。



養成大学の展望

大学紹介 北から南



「教員養成センター」と「看護学科」の協働
による養護教諭養成
鹿児島純心女子大学 看護栄養学部看護学科
小楠 範子

1994年に開学した鹿児島純心女子大学は、開設当初より看護学科において養護教諭一種免許状が取得できる教育課程を編成しています。

教職に関する科目は1年次から開講されていますが、座学だけではなく体験学習も低学年から組み入れているのも本学の特徴の一つかもしれません。1年次には5日間の「学校インターンシップ」を設定し、学生が生徒としての視点だけではなく、教師としての視点で教職や教育について考えるための動機づけを行っています。2年次には「教職フィールドワーク」を設定しており、学生は9月の夏休みなどを利用して養護教諭の補助業務に携わっています。これは学生にとって、養護教諭の職務を体験的に学ぶ機会であると同時に養護教諭としての自身の適性を見極める機会ともなっています。看護師国家試験受験資格取得を土台とする本学の看護学科では、2年次終了時点で、保健師・助産師・教職の選抜が行われており、教職フィールドワークの体験は、学生の進路選択の見極めの観点からも重要な意味をもっています。

このように本学は低学年から学校での体験学習を取り入れています。それらの企画を担っているのが「教員養成センター」です。2学部4学科からなる本学は、それぞれの学科の特色を生かした教員免許状が取得できる教育課程となっており、その中心に位置しているのが「教員養成センター」です。ここでは、実践的指導力を有する教員養成を目指し、全学の教職課程を一元化し、教員養成カリキュラムの内容・方法の改善に関わる企画及びその推進に関する業務を担っています。体験学習の実施にあたっては地域学校の協力が不可欠であり、地域の教育委員会の協力を得ながら「地域連携教育プロジェクト」を立ち上げ、教職を目指す学生を地域と共に育んでいます。

「教員養成センター」に所属する全学科の教員が、学科を超えて教員としての土台づくりをサポートし、

養護教諭に関する専門分野を看護学科の教員が担う。これらの協働によって本学の養護教諭養成は成り立っています。最近では、養護教諭として活躍する本学卒業生の姿に刺激されて、養護教諭を目指して入学する学生もおり、卒業生の活躍を実感しているところです。



小児看護学領域で行う養護教諭養成
茨城キリスト教大学 看護学部看護学科
松永 恵



2010年度入学生から養成が始まりました。様々な理由から近くにある茨城大学を選ばなかった学生や、看護師免許に強い思いを抱いた学生が入ってきます。入学後は空き時間がない上、土曜も採用試験対策ゼミがあり、想像を絶する連続多重課題を果たさなければ卒業できません。どんなことがあっても養護教諭になりたいという強い意志が求められます。

養成を担当する私は、保健師を養成する公衆衛生領域ではなく、小児看護学領域に所属しています。1年次の精神看護学や2年次の小児看護学の講義で、学童期・思春期を教え、看護師免許のみ取得する学生も小児の心身の健康な発達をしっかりと学びます。また私は小児看護学の演習や実習も担当します。そのため3年次の看護実習で学生が、病院で治療を受ける子どもや施設で療育されている子どもを理解しようと徹夜で勉強しても間に合わず、理想と現実の差に無力感を味わうという体験に付き合います。そして4年に進級し、実習校で健康な子どもたちのはちきれんばかりのエネルギーに感謝し頑張るという体験にも付き合います。優しすぎて自己主張を控えてしまう弱さは教職実践演習での課題になっていきます。

赴任した際、養護に関する知識はさることながら人体構造や看護に関する知識技術の定着の低さが気になりました。カリキュラムには読み替え科目が並んでいたので、会議で未履修と思われる内容を報告したら、熱いご意見を多数いただきました。各科目のシラバスやテキストを読み、直接該当する科目の教員に教授内容をお聞きし、養護概説や実習前指導では既習事項と関連させながら定着させるよう心掛けています。今春からは初めて卒業生が講師として働き始めました。お茶を飲みながら仕事の喜びや悩みを共有できる幸せを噛みしめております。



「人間科学」を活かした養護教諭をめざして
愛知みずほ大学大学院 人間科学研究科
渡辺 千津子



本瀬木学園は、1939年に「健への教育」と「社会人としての知性豊かな人間教育」を目標に名古屋に瑞穂高等女学校（現在、「愛知みずほ大学瑞穂高等学校」（男女共学））を設置したことが始まりです。その後、1950年にいち早く瑞穂短期大学（現在「愛知みずほ大学短期大学部」）を創設し、女子の高等教育の道を開き、建学の趣旨に沿い養護教諭等の養成を通じ、国民の栄養向上・児童生徒の体位向上・女子の地位向上に努めてきました。1993年には建学の精神を発展させつつ、新しい時代の要求する人間科学に関する専門的知識・技術を身に付けた人材の養成を目標に「愛知みずほ大学」を創設しました。2003年には、「人間科学」として総合的学際的な教育・研究を推進し、高度な専門家・職業人の育成を目的に「愛知みずほ大学大学院」を開学するに至っており、養護教諭の養成に関して長い歴史のある学園です。

「大学院」人間科学研究科では、幅広い視野から問題解決をする専門家・職業人の育成を目指した各々の研究課題を「基礎理論」と「実践」の両面から研鑽・研究が出来るカリキュラム編成になっています。また、短期大学卒業者を含む社会人にも広く開かれ学びやすく、昼夜開講や長期履修学生制度や科目等履修生制度も整っています。従って、同じ教室で学んでいる院生は、様々な職種であり年齢の幅も広いので視野も広がり充実感があります。科目等履修生として大学生とも学ぶ機会があり交流の場となっています。また少人数が故に先生との距離が近いのも特徴と言えます。現段階では、養護教諭専修免許状を取得して学校現場で勤務している卒業生は9人（正規採用7人・常勤講師2人）おり、愛知県をはじめ東京都・静岡県で活躍中です。養護教諭専修免許状の取得のために頑張っている在学院生は4人です。今後もお互いに切磋琢磨し、「人間科学」を活かした養護教諭養成を目指します。



協議会活動報告

庶務 遠藤伸子（女子栄養大学）

【2014年度第8回役員会】

日時：2015年3月18日（水）10：00～12：00

場所：国際医療福祉大学大学院東京青山キャンパス

出席者：荒木田、池添、大原、櫻田、鈴木、宍戸、津島、三村

議事：各委員会及び担当者から1年間の活動について報告があり、次年度検討すべき課題が確認された。ニューズレター26号及び2014年度事業活動報告書の編集状況について報告と提案があり承認された。



【2015年第1回役員会】

日時：2015年3月18日（水）13：00～15：00

場所：国際医療福祉大学大学院東京青山キャンパス

出席者：荒木田、遠藤、大川、河田、櫻田、宍戸、津島、中下、三村

議事：岡田会長の理事退任願いについて本会役員会規定第5条の1に基づき審議を行った結果、承認された。そのことに伴う理事の補充については、同規定第5条の2により、役員会選挙次点者の大川尚子先生（関西福祉科学大学）に依頼しご承諾が得られた。なお、新会長についても同規程第7条に基づき合議し、今期（平成27年4月より3年間）の会長を荒木田美香子先生（国際医療福祉大学）が担当することになった。以上、理事及び会長の交代については今年度9月4日の総会でご承認戴くことを確認した。また、今期の事業計画の内容についての確認と新役員による役割分担について検討を行った。

【2015年度第2回役員会】

日時：2015年4月29日（水）10：30～16：00

場所：高知県立大学法人サテライトキャンパス

出席者：荒木田、池添、遠藤、大川、河田、櫻田、宍戸、津島、中下、三村

議事：新役員体制、2014年度決算報告、2015年度予算等について審議した。また、今期の事業としての委員会活動内容や9月に行われる総会、フォーラム、セミナーについて協議した。なお、今年度は10周年を迎えることから10周年記念事業について担当者及び内容について協議した。

第5期(2015～2017年度) 新役員 役割

第5期の新役員体制が決定しました。会員の皆様とともに活発に活動を行っていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

役割	担当
会長	荒木田美香子
副会長 (総務、会計)	三村由香里
副会長 (庶務、広報渉外)	櫻田淳
総務	津島ひろ江
会計	宋戸洲美
庶務	遠藤伸子
広報・渉外	池添志乃・櫻田淳・荒木田美香子
事務局	河田史宝・櫻田淳
カリキュラム 検討委員会	大川尚子・三村由香里
養成制度委員会	
FD 検討委員会	中下富子・遠藤伸子
十周年記念行事 プロジェクト	荒木田美香子・櫻田淳・三村由香里 大原榮子 (外部)

事務局からのお知らせ

2015年度総会、養成教育フォーラム養成教育セミナーの案内を同封いたしました。参加申込は、8月1日までにご提出をお願い致します。また、総会を欠席される場合は、委任状の提出を同様をお願い致します。

年度当初の会員校登録及び基本調査に際しましては、Web登録、FAX、メールでの登録にご協力をくださいましてありがとうございました。感謝申し上げます。

2015年度より事務局を担当させていただくことになりました。会員校の皆様には、事務局大学変更に伴いまして、ご不便をおかけしたことを深くお詫び致します。事務局のメールアドレスは、ホームページと同様のドメインのアドレスを設定いたしました。ご連絡等に使用していただけますようお願い致します。

事務局 河田 史宝 (金沢大学)
櫻田 淳 (埼玉県立大学)

ホームページ更新について

日本養護教諭養成大学協議会ホームページにつきましては、ニューズレターおよび会議予定等について更新いたしました。ぜひご覧ください。

ホームページでは、今後も先生方との双方向の情報場として発展させていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ホームページ担当:池添 志乃(高知県立大学)

日本養護教諭養成大学協議会

<http://www.i-yogo.jp/>

会計よりお願い

今年度から会計業務を引き継がせていただくことになりました。

今年度は本協議会設立10周年を迎え、記念行事等も計画されています。従来の予算以外の支出も考えられ厳しい面もでてくるのが予想されますが、会員校からいただきました貴重な会費を有効に執行できるように努力したいと思います。

2015年度の会員校は122校の届け出をいただいています。7月までに会費納入をして頂きますよう、よろしくお願いいたします。

会計担当: 宋戸洲美 (帝京短期大学)

編集後記

2015年度よりニューズレターの担当をさせていただくことになりました。養護教諭養成を取り巻くさまざまな変革が求められている今、養護教諭養成大学として、みなさまと一緒に、養成大学のあり方、質の高い養成教育のあり方について考えていければと思っています。会員校の皆様とのネットワークづくりを大切に、多くの会員のみなさまの声をニューズレターでも届け、充実させたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

池添 志乃 (高知県立大学)

櫻田 淳 (埼玉県立大学)

荒木田美香子 (国際医療福祉大学)

【事務局】金沢大学人間社会研究域学校教育系
河田 史宝

TEL&FAX : 076-234-4106 (事務局)

Mail : yogojimu@j-yogo.jp